

原発性肺癌に対してサルベージ手術を 受けた患者さんへ 研究協力をお願いについて

本学では、下記の研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、金沢大学医学倫理審査委員会の審査を受け、附属病院長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

2014 年 1 月から 2024 年 6 月までに、原発性肺癌に対してサルベージ手術を行った症例を対象としています。

2. 研究の目的について

放射線療法または化学療法後に、残存または再燃した場合サルベージ手術が行われることがあります。分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害薬の登場で手術不能とされた症例に対するサルベージ手術が増加しています。その治療戦略の意義と限界を探ることが本研究の目的です。

3. 研究の方法について

2014年1月から2024年6月までに、原発性肺癌に対してサルベージ手術を行った症例について後方視的に治療経過から意義と限界を検討します。その際の治療経過の結果などを電子カルテのデータから情報収集します。

4. 研究期間

金沢大学医学倫理審査委員会承認日から2025年3月31日まで

5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、肺癌の治療経過、カルテ番号

6. 外部への試料・情報の提供・公表

外部機関に情報を提供することはありません。研究成果は第65回日本肺癌学会学術集会で発表し、胸部外科系学術雑誌に投稿することがあります。学会発表や論文掲載の際は金沢大学呼吸器外科のWebサイト上に公開します。

7. 予想される利益と不利益について

この研究はデータの調査だけを行う研究であり、この研究に参加しても患者さんに直接の利益はありません。予測される不利益として個人情報の流出の可能性は0ではありませんが、そういうことがないようにデータの取り扱いについては、外部に漏れることが無いよう細心の注意を払います。

8. プライバシーの保護について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されますので、あなたの個人情報が外部に漏れることは一切ありません。

この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合、あなたの個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。

9. 研究組織

金沢大学附属病院 呼吸器外科	助教	齋藤大輔
	教授	松本 勲
	講師	懸川誠一
	助教	和田崇志
	医員	西川悟司

10. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

この研究における使用機材や抗生剤などの使用薬を製造販売している会社（または関連機関）との間に利害関係はありません。従って、私はこの研究の実施の際に個人的な利益のために専門的な判断を曲げるようなことは一切いたしません。

1 1. 研究への不参加の自由について

試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、2025年03月31日までに下記の問い合わせ先までお申出ください。

1 2. 研究に関する窓口

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究機関の名称：金沢大学 呼吸器外科
研究責任者：齋藤大輔（金沢大学附属病院 呼吸器外科 助教）
問合せ窓口：金沢大学呼吸器外科事務局
住所：金沢市宝町13-1
電話：076-265-2354